

令和3年度 市民活動補助金交付事業 実績報告に対するコメント

令和3年度に市民活動補助金を活用し、様々な地域課題の解決に取り組んだ4団体から、事業の実績報告がありました。

事業を支援してきた安城市民活動センターから団体へのコメントです。

事業を実施した4団体へのコメント

◆説明◆

○団体名
「事業名」

実施事業内容
事業効果等

①人形劇団すずきじゅく

「乳幼児向人形劇 新プログラム無料公演(サルビア学園)」



サルビア学園にて12/6に「いたずらねずみ」2回公演

いつもの場所で、安定した環境のなかでの観劇は、特に障害のある子ども達にとっても良かった。

- ・コロナ禍の事業実施にあたり、様々なご苦労があったと思います。まずは無事に開催でき、良かったですね。この1年間の活動で人形劇の技術だけでなく、団体運営もスキルアップされたかと思います。今後も、子ども達がステキな文化に触れられるよう応援しています！



③特定非営利活動法人 コミュニティサポーターほっぴ 「小学生防災教室」

市内小学校11校にて防災教室（地震動画・こなまず・マイトイレ等）を開催

地震体験・非常用トイレへの理解が深まった。参加児童を通じて、防災啓発内容を各家庭に拡散できた。避難所となる小学校での防災教室は、地域の防災力を高める有効な手段となり得ることが実感できた。



- ・小学生が防災知識を知るだけでなく、こなまず号・災害時のトイレといったリアルな体験が出来たことでより良い防災の学びの機会になったと思いました。
- ・今回体験をした子どもたちや学校の先生だけに留まらず、周囲の人にも波及し、地域の防災力がより向上していくような活動を今後も期待しています。





④ザ・フレチャース 「街かどコンサート」及び「出前コンサート」

8～11月にフリーライブを4回、12月に街かどコンサートを4回、ろくえん市民会館にて開催

聴いていただいたみなさんに「生演奏はいいね!!」と楽しんでいただいた。



- ・この事業を通してどんな安城市のまちづくりを目指しているのか、皆さんの思いを広く発信していただき、より共感を得られる活動にしていってください。
- ・音楽のあるまちを作るために、若手のアマチュアバンドの育成もぜひお願いします！

⑤おもちゃ病院 「おもちゃの修理」

公民館・福祉センター等で第1～4土曜日におもちゃ修理を実施

「物を大切にする気持ち」の育成をめざして取り組んできた。コロナ禍で外出をためらう中、多くの人に修理に来ていただいた。



- ・おもちゃの修理活動を通じて、物を大切にするこの意味、必要性を社会に広く発信し、市民が豊かな心を育めるような活動にしていってください。また、みなさんの活動を次の世代に継承していってください！
- ・オンラインで代替することができない事業のため、感染症対策など、これまでとは違うご苦労がたくさんあったかと思えます。そんな中でも昨年度より多くのおもちゃを修理されたとのことで、貴団体の大切にされている「物を大切にする気持ち」が多くの方に伝わったんですね。



全体を通して

- ・行政だけでは解決出来ない課題に対して、コロナ禍でも感染予防の工夫をしながら、まちづくり・つながりづくりに取り組んでいただきました。今回の補助金制度をステップにして、次年度以降もよりよい活動が継続していけるよう応援しています。
- ・今回のフィードバックを他団体さんにもぜひ伝えてください。活動分野が違って、安城市を良くしていきたいという思いを同じくする団体さん同士が、互いに応援し合える関係になれるといいですね！

お知らせ

郡上踊り安城同好会「自由参加型郡上踊り体験会定期開催事業」

安城アレルギーっ子の会きらきら星「親子で作ろう！アレルギーっ子のおやつ」

西三河野生生物研究会「くわしく知ろう 身近な自然」

ゆうき少年団「いっしょにあそぼ♪～あそびで育つこどものころ～」につきましては、市民活動補助金の辞退や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止されたため、実績報告はありません。